

施策17	健康づくりの推進と保健・医療体制の充実	主管部長(課)	健康部長(健康推進課)
		関係部長(課)	健康部長(生活衛生課、保健予防課)、障害福祉部長(障害者施策課)

1 施策目標

江東区の目指す姿

区民が正しい知識と情報を得て、自ら健康づくりに取り組める環境が整備されています。病気になっても、住みなれた地域で、安心して暮らし続けられるよう、必要な保健・医療サービスが受けられる体制が整っています。

施策実現に関する指標(代表指標)

指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
自分は健康だと思う区民の割合	%	67.7	67.0	71.7	70.8	67.4		73	健康推進課

指標選定理由		自ら健康づくりに取り組める環境整備に対する区の取り組みの効果を客観的に示す指標であるため							
分析	達成度	◆「健康日本21(第二次)」に基づくライフステージに応じた健康づくり施策を進めてきたが、コロナ禍の外出自粛なども影響して指標は横ばいに留まっているものと考えられる。新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、今後も感染症の影響には留意しつつ、区民の自主的な健康づくりの充実に取り組む必要がある。							
	*								

施策コストの状況

種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
トータルコスト	4,023,330千円	3,280,555千円	4,565,609千円	4,700,020千円
事業費	3,479,521千円	2,803,895千円	3,964,094千円	4,051,496千円
人件費	543,809千円	476,660千円	601,515千円	648,524千円

《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)

- ◆国は、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現を目指し、令和5年5月に「健康日本21(第三次)」を策定した。
- ◆都も「健康寿命の延伸」「健康格差の縮小」を目指し、令和6年3月に「東京都健康推進プラン21(第三次)」を策定した。
- ◆両計画とも、計画期間は6年度から17年度までの12年計画となっており、健康に関心が薄い者を含む誰一人取り残さない健康づくりに取り組むこととなっている。

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1		健康教育・相談支援体制等の充実
主な取組	ライフステージに応じた健康づくりの推進	
取組内容	◆「江東区健康増進計画(第二次)」に基づき、ライフステージに応じた健康づくり施策を進めていく。区民が自ら健康の維持増進に向けて行動できるよう、健診や各種イベント等を通じ普及・啓発に取り組む。6年度は国・都の計画を参考に、「江東区健康増進計画(第三次)」の策定を進める。 ◆自殺対策については、「江東区自殺対策計画」に基づき、地域ネットワーク及び多様な相談支援体制の強化を図る。	
主な実施事業	健康増進事業、がん対策推進事業、食育推進事業、自殺総合対策・メンタルヘルス事業	
取組方針2		疾病の早期発見・早期治療
主な取組	健(検)診の実施と受診への啓発・健(検)診実施医療機関への精度管理の向上	
取組内容	◆各種がん検診および健康診査を実施し、受診率向上に向けた受診勧奨等の啓発を行っている。また、受診しやすい環境を整えるため、実施医療機関の拡充を行っている。 ◆各種がん検診の精度管理向上を図るため、実施医療機関への検診チェックリスト並びにフィードバックを行い、検診の質を高め、要精検者に対し適切な指導を行うよう周知する。	
主な実施事業	健康診査事業、胃がん検診事業、子宮頸がん検診事業、肺がん検診事業、乳がん検診事業、大腸がん検診事業、眼科検診事業、前立腺がん検診事業、歯周疾患検診事業、保健情報システム管理運用事業	
取組方針3		保健・医療体制の充実と連携の促進
主な取組	地域医療連携体制の促進	
取組内容	◆休日急病診療所の運営のほか、在宅医療に関する多職種との連携に資する会議・研修の実施、人材育成に資する研修の実施、区民向けシンポジウムの開催等を行う。 ◆昭和大学江東豊洲病院は災害・救急・周産期の対応や地域診療所との連携が図られているが、地域医療の拠点として引き続き連携し、区民の安全安心の確保を求めていく。	
主な実施事業	土曜・休日医科診療・調剤事業、在宅医療連携推進事業	

3 取組方針の実施状況

取組方針1	健康教育・相談支援体制等の充実	主管部長(課)	健康部長(健康推進課)							
		関係部長(課)	健康部長(保健予防課)、障害福祉部長(障害者施策課)							
健康寿命の延伸を図るために、ライフステージに応じた健康づくりを推進し、区民が主体的に生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防や重症化予防に取り組めるように、がん対策や食育の推進、運動・スポーツ習慣を含めた健康づくりの普及啓発や相談支援体制を整備します。また、こころの健康づくりに関する取り組みを充実させるとともに、関係機関と連携して自殺対策を推進します。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
65 歳健康寿命		歳	男性82.22 女性85.55 (29年度)	男性82.75 女性85.93	男性82.72 女性85.84	男性82.58 女性85.63			男性82.51 女性85.92	健康推進課
指標選定理由		健康づくりの普及啓発や相談支援体制の整備など、ライフステージに応じた健康づくりの推進状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆4年度の健康寿命は、男性が82.58歳、女性が85.63歳と、前年度に比べると若干の下落が見られるが、元年度に比較すると男女ともに上昇傾向にある。(平成29年度:男性82.22歳、女性85.55歳)								
	4 (順調)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		2,040,067千円	1,798,309千円	2,056,882千円	2,055,908千円					
事業費		1,634,436千円	1,442,898千円	1,614,471千円	1,588,385千円					
人件費		405,631千円	355,411千円	442,411千円	467,523千円					
成果と課題										
◆新型コロナウイルス感染症の影響もあり、啓発イベント等を実施できない事業が生じた。一方で、「江東区家庭料理検定」、「こうとう健康チャレンジ」等区民の健康に関する知識の取得や、自主的な運動を促す事業を実施している。また、区民支援として禁煙外来治療費の一部助成制度やがん患者ウィッグ購入等費用助成制度の開始、「がん患者と家族のための療養ガイド」の作成、がん夜間相談窓口事業の継続等相談支援体制の拡充ができた。										
◆区民が主体的に健康な生活習慣への改善や継続ができるよう、今後も普及啓発を進める必要がある。										

取組方針2	疾病の早期発見・早期治療	主管部長(課)	健康部長(健康推進課)							
		関係部長(課)	健康部長(保健予防課)							
各種がん検診及び健康診査の普及啓発を推進し、受診率向上に努め、区民が自らの健康状態を定期的に把握できるよう機会を提供します。また、各種検診データを分析し、健(検)診が適正に実施されているかを評価するなど健(検)診実施体制の充実に努め、疾病の早期発見・早期治療につながる取り組みを推進します。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
この1 年間でがん検診を受診した区民の割合		%	55.2	50.3	52.3	54.1	52.9		60	健康推進課
指標選定理由		疾病の早期発見・早期治療につながる区の取り組みの効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆がん検診受診対象者全員に受診券を個別送付、年度途中に受診記録のない方へ再勧奨のはがきを送付している。更なる受診率向上に向け、がん検診の意義や必要性をわかりやすく説明し、区民が受診しやすい検診環境を整備していく必要がある。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算					
トータルコスト		1,730,940千円	1,246,938千円	1,909,458千円	1,860,959千円					
事業費		1,638,228千円	1,165,608千円	1,802,092千円	1,754,541千円					
人件費		92,712千円	81,330千円	107,366千円	106,418千円					
成果と課題										
◆4年度から、胃がん(エックス線)検診の区内医療機関での実施へと拡充。胃がん(内視鏡)検査の対象年齢を60歳代偶数年齢に拡大した。6年度から、肺がん検診を区内医療機関でも受診できるようにするため、関連団体と協議を進めていく。										
◆がん検診精度管理向上のため、5年度より大腸がん検診の検査方法の統一を図った。また、実施医療機関に対し検診チェックリストの実施やプロセス指標の提示を行うなど、質の向上を目指し、関連団体と協力していく。										
◆4年度よりマイナポータルによるがん検診情報の閲覧を開始。今後も国の自治体システムの標準化の動きに合わせて、区独自の保健情報システムの標準化に対応するため、関係課・関連団体と協議を進めていく。										

取組方針3		保健・医療体制の充実と連携の促進			主管部長(課)		健康部長(健康推進課)					
					関係部長(課)		健康部長(生活衛生課)					
区民が良質で適切な医療を受けられるよう、急性期・回復期から在宅医療に至るまでの切れ目のない医療連携体制を整備していきます。また、在宅医療に関するニーズに応えるため、かかりつけ医を普及し、医療機関及び介護事業者等との在宅医療・介護連携体制の構築に努めます。												
指標												
指標名				単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
かかりつけ医を持つ区民の割合				%	64.7	61.8	64.2	64.9	66.3		72	健康推進課
指標選定理由		良質で適切な保健・医療体制の充実と連携促進状況を客観的に示す指標であるため										
分析	達成度	◆4年度から5年度にかけて1.4ポイント増加しており、区の取り組みが一定の効果を上げていると考えられる。										
	4 (順調)											
取組コストの状況												
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		252,323千円		235,308千円		599,269千円		783,153千円				
事業費		206,857千円		195,389千円		547,531千円		708,570千円				
人件費		45,466千円		39,919千円		51,738千円		74,583千円				
成果と課題												
◆新型コロナウイルス感染症患者を診察・入院受入する医療機関・薬局への支援を行い、区民の安全安心の確保を進めた。												
◆コロナ禍で開催できなかった、医療従事者等を対象とする研修事業や区民への啓発イベント等については再開している。今後も在宅医療・介護連携を推進していく必要がある。												

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆5年度区民健康意識調査では、「健康に関心がある区民」が8割台半ばであるのに対し、「運動習慣がある区民」が4割半ばと、区民の健康意識と行動に乖離があることから、引き続き効果的な普及・啓発事業を実施する必要がある。
今後の方向性	◆「江東区健康増進計画(第二次)」に基づくライフステージに応じた健康づくり施策を積極的に実施していくとともに国・都の計画を参考に、「江東区健康増進計画(第三次)」の策定を進める。 ◆健康状態やライフスタイルに応じ、区民が自ら健康の維持増進に向けて行動できるよう、今後も引き続き健(検)診、講演会や各種イベント等を通じ普及・啓発に取り組む。

5 二次評価《区の最終評価》 ※5年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	◆新型コロナウイルス感染症の流行を契機に一部の指標において、計画策定時の現状値から低下している。 ◆今後も、施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
実現に向けた取り組み	◆区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、新たに策定する「健康増進計画(第三次)」に基づき、 気軽に実践できる健康づくりの普及啓発に積極的に取り組む ことで、健康寿命の延伸・生活の質の向上を図る。 ◆自殺対策について、改定する「江東区自殺対策計画」に基づき、引き続き地域ネットワークの強化及び多様な相談支援体制の充実を図る。 ◆各種がん検診及び健康診査について、受診しやすい健診環境の整備や未受診者への再勧奨の実施など、引き続き受診率向上に努める。 ◆在宅医療に関するニーズに応えるため、多職種の連携に資する会議・研修の実施及び人材育成研修を実施することで、医療機関・介護事業者等との在宅医療・介護連携体制の構築に努める。